

暮らしの中から政治へ

消費税をなくす江東の会 藤谷 秀子

先の衆院3補選が全国の皆さまの大きな励ましの中で勝利したことは本当にうれしいことと深く感謝申し上げます。十分な総括も終わらぬうちに江東区ではまたすぐに都議補選と都知事選挙に入っておりますので

私の個人的な振り返りですがご容赦ください。

消費税ができてから毎月駅頭で

ちょうどバブルもはじけ消費税がとりただされる頃、小学校の息子が税のことが書かれた下敷きを持って帰ってきたり、中学校では税の作文コンクールが始まったり。私たちは何かおかしいとPTAや新婦人と区の方へ問いただしました。そして土建さんや民商さんとともに「税制民主化協議」をつくり教組も区職も加わりました。また、その時区内で次々大型スーパーができ、商店街が潰されていきました。高齢の方や障害の方たちが買い物難民になると年金者組合も、守る会も加わって3・13の集会や学習会なども催しました。消費税ができてからは「小さく生んで大きく育てる」ことが丸見えなので毎月反対しなければと「なくす会」

と「各界連」で今でも駅頭でやっています。お正月にはいろいろな団体の顔合わせも兼ねて七福神巡りで賑わう富岡八幡宮前で「初詣に初署名、仕事始めにこの署名はいかがですか」と東京なくす会のご協力もいただきながらやっています。

「消費税憲法かえれば戦争税」の気配が見えてきてからは2004年に発足された「九条の会」の呼びかけに応じて「下町亀戸9条の会」と「深川9条の会」そして安保法制ができることさらに地域ごと団地ごとの「戦争法反対」の組織が成人式、国会、大使館へと行き、区内にある「戦災資料センター」と「第五福竜丸記念館」を活用しながら活動しています。焼け跡には工場も次々と建ち、公害反対運動、オウム追い出し闘争もありました。その空き地に大型団地がつくられ、64年オリンピックなどで駆り出された人たちが故郷に帰らずに所帯を持ち団地はすぐ満杯に。私の住む公団も全国の訛りが飛び交って賑やかです。でも定年を迎えると介護やお墓のことで故郷へ戻って行き、そのあとにはインドやアジアの

人たちが住んでいます。埋立地の南部のほうは巨大な超高級マンションが林立するニューファミリーの街です。そして人口は55万人を超えました。

「さまざまな願いを束ねて」

区内にはろうあ学校、養護学校、療育センター、民医連、作業所、グループホーム、特養があり福祉医療関係や子育ての運動もあり多様です。それらの関係者をつなぎながら市民連合ができてきました。代表をお願いしている宇都宮弁護士さんは都知事候補の経験もあり、永く江東区に住んでおられ柔和で外国の民主化運動にも詳しく、なくてはならない方です。私たちはまだ何一つ要求を実現していません。当選したことはその第一歩が始まったにすぎません。これからどうやって一つひとつを取り戻していくかは選挙より難しいかもしれませんが、今回一緒に動いてくださったたくさんの方々の声、真摯に聞きながら楽しく一歩一歩進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



富岡八幡宮前で初詣宣伝をする江東の会のみなさん